

**食品に関するリスクコミュニケーション～食中毒予防対策などを中心とした食品安全への取り組みについて～**  
**(平成19年7月9日開催：広島市)**  
**アンケート集計結果**

参加人数 120名  
 アンケート回答者数 75名 回答率 62.5%

Q1 ご自身について、ご回答ください。		
<b>1 性別</b>		
1 男性	44	( 58.7%)
2 女性	26	( 34.7%)
<b>2 年齢</b>		
1 ～19歳	0	( 0.0%)
2 20歳代	11	( 14.7%)
3 30歳代	17	( 22.7%)
4 40歳代	14	( 18.7%)
5 50歳代	21	( 28.0%)
6 60歳代	3	( 4.0%)
7 70歳～	6	( 8.0%)
<b>3 ご所属</b>		
1 消費者(団体を含む)	11	( 14.7%)
2 生産者	2	( 2.7%)
3 製造・加工業	19	( 25.3%)
4 流通・販売業	4	( 5.3%)
5 報道関係者	0	( 0.0%)
6 行政関係(独法含む)	30	( 40.0%)
7 その他	7	( 9.3%)
<b>4 本日参加された目的</b>		
1 食品の安全性の問題に関心があるため	44	( 58.7%)
2 国における食品安全確保に関する取組を知るため	33	( 44.0%)
3 食中毒予防対策について知るため	35	( 46.7%)
4 パネリストや参加者の意見を聴くため	27	( 36.0%)
5 意見・要望を述べるため	2	( 2.7%)
6 その他	2	( 2.7%)

Q2 本日のリスクコミュニケーションの実施について、何でお知りになりましたか。		
1 新聞	0	( 0.0%)
2 ラジオ	1	( 1.3%)
3 雑誌、情報誌、自治体広報紙等	3	( 4.0%)
4 ポスター又はちらし	3	( 4.0%)
5 ホームページ	17	( 22.7%)
6 所属団体からの連絡	45	( 60.0%)
7 その他	5	( 6.7%)

Q3 演者からの説明についてお伺いします。説明内容について、十分に理解することができましたか		
1 できた	12	( 16.0%)
2 おおむねできた	55	( 73.3%)
3 あまりできなかった	4	( 5.3%)
4 できなかった	1	( 1.3%)
<b>SQ1 十分に理解することができなかった理由は次のどれですか。(当てはまるものを全て)</b>		
1 用語など内容が理解しにくい。	2	
2 説明資料が見にくい。	3	
3 説明が聞き取りにくい。	5	
4 自分が理解していることとは異なる説明である。	0	
5 その他	6	

Q4 本日のリスクコミュニケーションについてお尋ねします。パネルディスカッション・意見交換での議論の内容等について理解できましたか？		
1 できた	14	( 18.7%)
2 おおむねできた	45	( 60.0%)
3 あまりできなかった	4	( 5.3%)
4 できなかった	1	( 1.3%)
<b>SQ1 十分に理解することができなかった理由は何ですか(当てはまるもの全て)</b>		
1 用語など発言の内容が理解しにくい。	1	
2 発言が聞き取りにくい。	3	
3 その他	6	

Q5 以下の設問について、〔意見交換会に参加する前〕、〔意見交換会に参加して〕で当てはまるものを1つずつ選んでください

1. 食中毒予防に関する国や自治体の取組について

〔意見交換会に参加する前〕

1 知っていた	34	( 45.3%)
2 少し知っていた	31	( 41.3%)
3 知らなかった	4	( 5.3%)

〔意見交換会に参加して〕

1 理解が深まった	44	( 58.7%)
2 変化なし	18	( 24.0%)
3 わからなくなった	1	( 1.3%)

2. 食中毒の原因（原因となりやすい食品等）及びその予防方法について

〔意見交換会に参加する前〕

1 知っていた	53	( 70.7%)
2 少し知っていた	15	( 20.0%)
3 知らなかった	2	( 2.7%)

〔意見交換会に参加して〕

1 理解が深まった	43	( 57.3%)
2 変化なし	24	( 32.0%)
3 わからなくなった	1	( 1.3%)

3. 日常業務や日々の食生活に今回の内容を活用できると思いますか

〔意見交換会に参加する前〕

1 とても思う	23	( 30.7%)
2 まあまあ思う	41	( 54.7%)
3 あまり思わない	6	( 8.0%)
4 ほとんど思わない	0	( 0.0%)

Q6 本日のリスクコミュニケーションについてお尋ねします。パネルディスカッション・意見交換において、自分とは異なる見解の発言はありましたか？

1 あった	18	( 24.0%)
2 なかった	44	( 58.7%)

SQ1 異なる見解の発言の趣旨は理解することができましたか。

1 できた	3	
2 おおむねできた	17	
3 あまりできなかった	4	
4 できなかった	0	

SQ2 発言の趣旨が十分に理解することができなかった理由は何ですか。

1 そのような見解に立つことが信じられない。	0
2 そのような見解に立つ理由が述べられていなかった。	4
3 その他	2

Q7 本日のリスクコミュニケーションの進め方についてお尋ねします。

1)良かったと思う点

全くない。情報提供で済むことばかり。  
 食中毒予防について、我々消費者が「知っておかねばならないこと」を学ぶ必要がもっとあると感じた。  
 厚生労働省や広島県等の食に関する安全安心についての取り組みが、同じ目線で発表があったので、よくわかった。  
 各分野からの食中毒予防に関するプレゼンテーションが、大変分かりやすく、またパネルディスカッションについても、いろいろな話が聞けて良かった。  
 まとまりのない質問群をうまくさばかれていましたね(吉川さん)。  
 この県に着たばかりなので、地域の事に非常に良くわかりやすい説明があったので、大変助かりました。  
 初心にもどり、衛生管理の大事さを痛感しました。  
 個別のプレゼンの時間が適当であった。  
 パネルディスカッションを通じて、前半のプレゼンテーションの内容を理解できた。  
 行政の取り組み内容の理解を深めることができた。  
 国や県の取り組みが分かって良かった。  
 パワーポイントを使用しているところ。またそれぞれわかりやすいものであった。  
 一般ではなかなか手に入らない(見ることができない)参考資料を頂くことができた。これは多くの一般の方にも配付できるのですか？  
 品川先生のお話はよく分かりやすく、広島県の方々のお話もよく理解できました。食品と食物との違いのお話が良かった。  
 今回参加して良かったと思う。しかし、私(一般人)には、何だかお役人の会議のように思えた。もう少し勉強してから参加をして見たいと思う。専門的な事が何も分からず、少し自分でも学んでから再度チャレンジしてみたい。  
 様々な立場での多角的な意見を聴くことができた。  
 会場からの反応が興味深い。  
 新しい知見が得られた。  
 スライドやグラフを使った説明でよく分かった。  
 行政の立場及び、営業者の立場からの意見が聞けて良かったと思う。  
 行政に従事する立場として、消費者の意見が聞けてよかった。  
 基本的な話だったので分かりやすかったと思います。国・県・事業者等、それぞれの立場での取り組みが段階的になっていた。

## 2)改善すべきと思う点

①説明会であってリスクコミュニケーションではない。②厚労省2人のいずれかに。③あじかんはPRか。④パネルは不要！

同じ項目の発表では、重複があって時間がチョットもったいない。それと、協会の説明は、読めばわかる事を長々と話されるのも、少しくだった。(パネルの内容がなかった)。

この場で団体の紹介をされても意味がないと思う。

時間の決まり。

食中毒予防対策について、プレゼンテーションが重なる点が多くあった。内容を重ならないようにすれば、プレゼンの時間も短縮できるのではないかな。

消費者に最も影響の大きいマスコミ関係者もパネラーとして入ってもらった方が良いと思う。特上番組制作で、グルメ番組(レパールの生食やシーズン前のカキの生食を扱っているもの)の責任者など。

時間設定、意見交換の時間が短すぎた。

全ての人に同じ発表時間を与える必要はないのでは・・・。

話をする方々が、時間に対して多すぎたので、言いたい事がそれぞれ言えなかったのではないのでしょうか？(前半)。聞く人数が少ないですね。普通の知っているべきことを改めて質問している消費者協会の方の話は理解しがたい。

もっとテーマを絞り込んだ方が良いと思います。

普通すぎて・・・。

一つ一つが短く、スピーディーすぎるのでは？午前中からの研修にすれば良いのではないのでしょうか？範囲が広すぎるのでは？

議事進行をもっとスムーズにすべき。

パネラーの人数が多く、説明が長すぎる。もっとテーマを絞ったほうが良いのではないかな？

駆け足すぎて内容がないものがあった。

意見交換。

時間配分が甘い。各15分での話はきつい。一人30分は必要。

前半のプレゼンの時間配分をきっちりしたほうが良いと思った。

食中毒予防対策等について、内容が多すぎて一つ一つの議題に深みが不足していたのではないのでしょうか？内容を少なくとも深めてはどうでしょうか？

コーディネーター、パネリストの話が長すぎると思いました。ディスカッションの時間が少なく残念。学習的な話は一般消費者には、少し内容が難しかったのでは？行政が頑張っていることはよくわかりますが・・・。

無駄な話、話がまとまっていない方がおり、分かりにくかった。同じ話が何度も続いてダレる。

意見交換の場ではなく、発表会であったこと。

時間配分。フロアからの質問の引き出し方が未熟では。

時間の管理を行って欲しかった(時間超過)。

意見交換会？一人がまとめてしゃべりすぎ。パート項目で区切りをつけなければ、ダラダラ、ダラダラ行ったり来たりで無駄が出る。一つずつに回答する必要がある席でありますか。立場を変えて意見交換をする！！

対象があいまい。プレゼンテーションがいまいち。時間配分が工夫の余地あり(前半を短く)。

時間管理がもう少し。

難しいと思うが、内容の重複がないように、あるいは、後で講演される方が調整できる人達をお願いします。

消費者・行政・企業それぞれの役割を果たす事の必要性とともに消費者への注意喚起の機会を増やしてほしい。

時間をきちんと切って、例えばタイム係を置くなどしてそれぞれの方が時間を有効に使って欲しい。

プレゼンの数が多い？時間不足になっていた原因はそこにもあると思いました。

時間配分。

一般の消費者さんもおられたと思うが、進むのが速く、また専門的な用語も多かったのではと思う。パネルディスカッション時間が長くとれると良かった。

もっと新しいデータ、新しい情報を聞ければ良かったと思う。

ディスカッションの時間が少ない。

たしかに前半の話は長いような。でも長くても中身がわかりやすければ良いと思います。フロアからは事前に質問や意見を集めてみてはどうでしょうか？

## 08 その他、今回のリスクコミュニケーションについて、お気づきの点がありましたら記入願います。

1、①名称 ②内容 ③運営の仕方 ④発表資料の内容 ⑤発表者の態度、 枚挙にいとまがない。2、事前の広報とは全く異なる内容、啞然！3、国(地方を含む)で開催されたリスクコミュニケーションのうちで最悪と思う。

「リスクコミュニケーション」はまだあまりよくわからないけれど、今日の発表から学ぶことが多くありました。言葉で伝えることの難しさ、話し方が違うと資料はとてよくできていても聞きながら眠ってしまうものや、マイクの前で話しても、何をいわれているかわからない話し方や、まとまりのない話し方で、思いを伝える事の難しさがよくわかりました。食に関する事についての安心・安全は、大きな機関によって守られていることもよくわかりました。

食中毒予防において、医療現場での話も聞ければ良かった。全体的には、まとまりがあって、大変有意義なプレゼン・パネルディスカッションであったと思う。もっと消費者にこの活動を周知すべきだと思います。

大変勉強になりました。

社会人のジョーシキとして、ケイタイを鳴らさない等は当然ですが、一応開始前に声かけをして電源を切る等の意識付けくらいはした方が良かったのでは？(何度も鳴ってうるさい)。

行政・自治体ともに、「今後どのような取り組みをする、又はさせる」かを明確にした方が良いと思います。このままでは、「食品安全への取り組みについて」ではなく「取り組んだ結果報告」にすぎないと思いましたが、つまり、テーマだけを掲げるのではなく、具体的に落とし込み、また、各事業所が何故徹底できないのか、そこまで踏み込まないと、実体がないように思います。

専門的な質問が多いです。一般的な事を知りたいと思います。

会場設定(机での記入が欲しい、会場が暗い、意見交換会の時間が短い)。

リスクコミュニケーションの話と、食品衛生協会での組織体制の説明は関係ないのでは？

一般消費者の方の意見をもう少し聞きたかった。

もっと具体事例と具体的な対策例の紹介が必要。「注意しましょう」だけでは、何をどう注意するのか分からない。

食中毒については、非常に重要な議題ではあるが、もう少し、今起こっている問題についてのリスクコミュニケーションも含めてはどうでしょうか？

進め方ではなく意見ですが、現場では衛生面での取り組みは十分とは言えないと思います。企業等への啓発はもちろんですが、やはりチェックは欠かせないと思います。ボランティアによるチェックでは限界があると感じました。

会場が無駄に寒い。プレゼン15分、休憩15:30分からと案内したら、厳守させるべき。司会の謝り方が不十分。うちでそれをやったら大ブーイング。信じられない。リスクコミュニケーション不成立でびっくり。いちいち拍手があり、不愉快！

船による輸入品の検査も大変だと思いますが、しっかり検査して下さるようお願いいたします。手洗いとうがいが大変というお話も良かったです。

自分の意見はあらかじめまとめて、書面を読めとは言わないが、長々と時間を取るのではなく、時間も限られていると言うことでしっかりテンポ良くまとめて欲しい。質問は質問でまとめ、それに対して何を必要としているのかまとめて、ダラダラマイクを手に話し続けることはどうかと思う。長時間でもあり、イライラした。

日本でのリスクコミュニケーションはこれからです。もっと工夫して深めていきたいと考えます。

消費者が家庭の食中毒が多いことを知らなかった事が意外であった。

時間配分をもう少し考えれば良かった。勉強になりました。

食と安全について、各省に任せるのではなく横のつながりを持って進めて欲しい。

当たり前のことができない人がいるのが残念ですが・・・。会が始まる時に携帯をマナーモードにするよう注意してはどうでしょうか？人としてできることが常識だと思うのですが。貴重なお話、どうもありがとうございました。